

21世紀 調和



横芝町議会議長

河本 泰興

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年の御挨拶を申し上げますとともに、日頃皆様には町政に対しまして、深いご理解とご支援、ご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。私も昨年6月以来議長という重責を務めさせていただいておりますが、円満なる議会運営と活発なる議会

ため本年より造成工事に入ります。

そして又、住民生活に最も関心の深い、道路網の整備に關しては、懸案でありました県道横芝下総線バイパスの建設推進を図るとともに、町内の各幹線道路網等の整備を進めて参ります。

農業については、農村総合整備モデル事業や農業基盤整備を推進し、農業の振興を図って参ります。又、商業に關しては、商店街の街路灯の新設事業や、中小企業振興融資資金貸付金の引き上げを図り、商業の活性化と商圏の再形成に努めて参ります。

又、福祉事業の推進については、高齢化時代を迎える中で、地域福祉活動の中心となる社会福祉協議会の活動を援助し、町民の福祉活動への理解と関心を深め、社会福祉の充実を図ります。生活環境の整備については、引き続き合併処理浄化槽の

「2000年の横芝町」に 町民の意見を反映

活動に、議員各位のご協力を賜りながら、微力ではありますすが全力投球に傾注しているところであります。

昨年を振り返りますと、内外諸情勢において、かつてない厳しさが増大し、経済動向も景気の減退の一途をたどるという深刻な状況となっております。只今、町は平成8年を目標年次とする第2次基本計画が昨年4月にスタートし、21世紀に向けたまちづくり積極的に取り組む、着実に事業の推進に邁進され、その成果をあげているところでござ

います。そして、そのなかで特に不況に対する、その速やかで適切な対応を行い、時代の変化に即応した町政も不可欠部分であろうかと思えます。このため、平成5年度には別格として都市計画の策定確立のもと、次代に豊かな郷土として引き継ぐために思いきった施策も必要であろうかと思えます。又、総合的な施策のなかで、財政投融资資金の積極的活用等により、所管事業を計画的かつ着実に推進していくことこそ肝要であろうと思えます。そして、公共事

業の円滑な執行を図るため、先行的、計画的に事業用地等を確保するための公共用地対策が必要であり、「2000年の横芝町」づくりのためにも急務条件の一つであろうかとも思うのであります。言葉たりませんが、議会はこれらをふまえて、町民皆様の意見を充分反映した必要諸施策の実現を目指してまいりたいと存じますので、皆様には一層のご理解と、ご協力をお願い申し上げます。最後にりましたが、町民皆様のますますのご発展とご多幸をお祈り申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

設置の普及に努めるとともに、下水道整備基本計画を策定し、快適な居住環境づくりのための基礎資料づくりを進めて参ります。又、生ゴミの減量化、再資源化を図るため、生ゴミ処理容器の設置者に対する補助事業を進めます。

教育の振興に關しては、新しい学習指導要領の実施に伴い、中学校にコンピュータ教室の整備を図るなど、児童・生徒一人ひとりが個性と創造性を育み、人間性豊かに成長するよう教育内容の充実や、施設の整備を進めて参りたいと存じます。

以上、平成5年度の施策の一端を申し述べましたが、21世紀に向けた調和のとれたまちづくりを目指して、各施策を推進して参る所存でございますので、本年もなお一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。最後に町民の皆様にとりまして、平成5年が、昨年にも増して素晴らしい年になりますようお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。